

研修医だより

● 2021 年度院内災害対応訓練

2021.12.08

▶ 研修医 2 年目 M.Y (札幌医科大学卒)

こんにちは！研修医 2 年目の M.Y です。

医学生の方々は国家試験対策の模試などで忙しい時期かと思えます。北見市にも冬が訪れ、救急車で搬送台数も増え、私たち研修医も日々奮闘し充実した研修を送っています！

さて、今回は 10 月末に開催された院内災害対応訓練についてご紹介します。当院は国から災害拠点病院に指定されており、「災害医療」への対応は赤十字事業の根幹であり責務でもあります。今年度の訓練は大規模災害による多数傷病者受入れに伴う、本部設置・運営訓練という内容で実施されました。研修医からは 2 年次 2 名が診療統括班として参加しました。

令和3年度
北見赤十字病院
院内災害対応訓練



災害対応の原則(CSCA TTT)

- Command & Control
指揮命令系統の確立
関係機関との連携
- Safety
3Sの確保 (Self Seen Survivor)
- Communication
情報共有ツールの確保
情報の収集・記録・共有
- Assessment
現状の評価と課題の検討

【訓練想定】

線状降水帯の影響により北見市内の小町川で堤防決壊に伴う河川氾濫が発生。双葉町・桂町にて浸水となっており、浸水による多数傷病者発生。傷病者の受入要請あり。北見赤十字病院暫定災害対策本部での協議の結果、多数傷病者発生により**災害レベル3**を宣言と共にD M A Tの派遣を決定。

【訓練項目】

多数傷病者受入に伴う本部設置・運営訓練
(本部・診療統括班・看護班・医療技術班・総務班・広報班・施設保安班・道立北見病院等)

新型コロナウイルス感染症予防の関係から、昨年度と同様訓練規模は縮小して行いましたが、訓練は濃い内容となりました。訓練の結果、多くの反省点が見つかりましたが、今後のマニュアル作り等に反映していくことができると考えます。

今回の訓練に参加したことで、災害医療への平時からの準備、7つの基本原則(CSCATTT)、効率的な医療活動を行うことの重要性を改めて感じました。



初めての経験で効率よく対応できない場面もありましたが、診療統括班として一人でも多くの患者を收容するためどのような課題を考えて行かなければならないのか、非常に勉強になりました。

このような取り組みに研修医が参加できるのも、当院が災害拠点病院に指定されており、また赤十字事業の一つとして災害医療に力を入れているからこそと思います。

興味をお持ちの方は、ぜひ一度病院見学にお越しください！お待ちしております！